

以下の項目について、当てはまっているようならチェックボックスに☑してください

医療・健康情報ニーズの把握と健康教育

- 1. 子どもの病気・治療についての認識や知識を確認したことがある
- 2. 成人後の医療費の経済支援、公的支援や医療保険について情報収集をしている
- 3. 成人後の医療（原病と成人疾患の双方）について、どのような変更が必要となるか情報収集をおこなっている

セルフケア能力、自立した受療行動の育成

- 4. 服薬管理やケアに関して、家族は見守るだけで、子どもに行わせている
- 5. 服薬管理やケアに関して、家族は子どもだけに管理させるのではなく、常に関心を持ち、ケア方法の変更(自己流)や治療拒否の兆候を早期に把握しようと努めている
- 6. 子ども本人が次回の受診日時を決定している
- 7. 診察時、医師に質問および自分の意見を述べることができる
- 8. 薬の受け取りや医療用品の注文は、子ども本人ができるよう、手助けしている

意欲、動機、能力を高める生活、活動の育成

- 9. 子どもが興味を持った事について、病気に関連したことも含め、話し合うことができる(アルバイトや趣味など)
- 10. 患者会や家族会などを紹介し、本人の参加希望を確認したことがある

医療者とのコミュニケーション、意思決定能力の育成

- 11. 新たな選択が必要となった時に、子どもが十分に考えや気持ちを表現できるように手助けしている
- 12. 子どもの選択が親と異なったとしても、互いに話し合うことができる
- 13. 子どもの選択に対し、メリット・デメリットについて情報収集を行い吟味しているか、他の人の意見もきいているかなどについて助言している
- 14. 子どもの選択や意見について不安・恐怖、情緒不安定等の様子の変化に注意し、必要であれば、医師・看護師、または他の医療者(栄養士・薬剤師・ソーシャルワーカー等)と相談しながら対応している
- 15. 子どもの将来や生活について、患者本人、家族および医師・看護師、または他の医療者(栄養士・薬剤師・ソーシャルワーカー等)と話をしている
- 16. 子ども自身で外来の予約ができる

保護者の移行準備

- 17. いつか適切な時期に小児科を卒業し、成人科へ移行することを受けとめている